

新専門医制度 更新申請要件

	旧制度 (学会認定)	新制度 (機構認定)
単位数	<p>30 単位</p> <p>①日本外科学会 定期学術集会参加…10 単位</p> <p>②外科サブスペシャルティ学会 定期学術集会参加…5 単位</p>	<p>50 単位 (実質 40 単位)</p> <p>①診療実績 (手術経験により 10 単位分充足)</p> <p>②共通講習: 8 ~ 10 単位</p> <p>③領域講習: 20 単位以上 (総論に関するeラーニング受講 (5 単位必修) を含む)</p> <p>④学術業績・診療以外の活動実績: 2 ~ 10 単位 (学術集会参加 1 回: 2 単位、6 単位が上限)</p>
手術経験	<p>100 例</p> <p>NCD への登録が必須</p>	<p>100 例</p> <p>上段①に該当、NCD への登録が必須</p>
費用	<p>申請手数料: 11,000 円 (税込)</p> <p>認定料: 11,000 円 (税込)</p>	<p>申請手数料: 11,000 円 (税込)</p> <p>認定料: 22,000 円 (税込)</p> <p>※認定料は、日本専門医機構の認定料 11,000 円を含む</p>
連動更新	<p>連動更新あり</p> <p>4つのサブスペシャルティ外科専門医との連動更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化器外科専門医 呼吸器外科専門医 心臓血管外科専門医 小児外科専門医 	<p>連動更新なし (現在準備中)</p> <p>将来的に6つのサブスペシャルティ外科専門医との連動更新を協議中</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化器外科専門医 小児外科専門医 心臓血管外科専門医 乳腺専門医 呼吸器外科専門医 内分泌外科専門医

手術経験 100 例を満たすことで診療実績として 10 単位分充足されるため、②~④で **40 単位** の取得で更新可能。

受講 1 時間 = 1 単位

共通講習 8 単位 (①~⑧) 必修

- ① 医療安全
 - ② 感染対策
 - ③ 医療倫理
 - ④ 医療制度と法律
 - ⑤ 地域医療
 - ⑥ 医療福祉制度
 - ⑦ 医療経済 (保健医療等)
 - ⑧ 両立支援
 - ⑨ 臨床研究・臨床試験
 - ⑩ 災害医療
- ※1 項目の複数カウント不可

領域講習

各外科系学会が開催

※1 時間以上 2 時間未満の場合は 1 単位。
連続 2 時間以上の場合は 2 単位と算定。

日本外科学会定期学術集会 1 回以上の参加必須、外科サブスペシャルティ学会学術集会の参加。


例) 日本外科学会定期学術集会 2 回 + サブスペシャルティ学会学術集会 1 回 = 計 3 回の参加で 6 単位。

従来同様の連動更新に向けて準備中。将来的に 6 つのサブスペシャルティ外科専門医との連動を協議中。

一期生 および 旧学会認定からの移行更新者 単位数への配慮策 (2027年版)

2027年度
更新の方への
配慮策

旧制度 (学会認定) の更新要件 20 単位と按分した合計 40 単位で更新可能

	 新制度 (機構認定)	旧制度 (学会認定)
② 共通講習	8 単位 (8 種すべて必修)	—
③ 領域講習	20 単位 (このうち 5 単位は外科総論講習を必修)	—
④ 学術業績・診療 以外の活動実績	2 単位 (日本外科学会定期学術集会への参加 1 回 : 2 単位)	15 単位 (旧制度 (学会認定) 更新要件に倣い算定)
	40 単位 15 + 25 = 40	15 単位

POINT

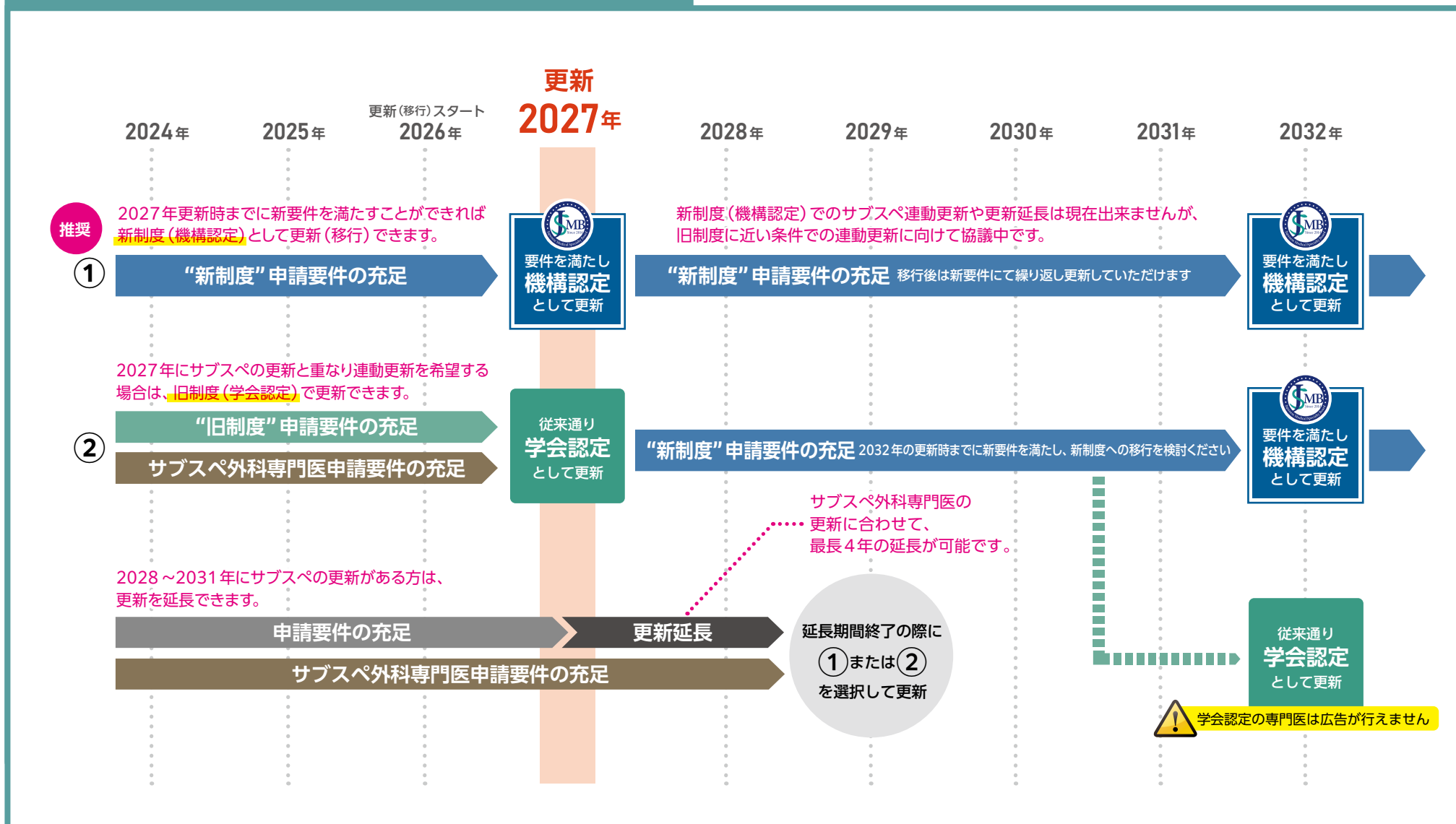
☑ 新制度要件「領域講習 5 単位減」

☑ 学術集会参加などの活動実績を 15 単位分
旧制度の更新要件で加算することが可能

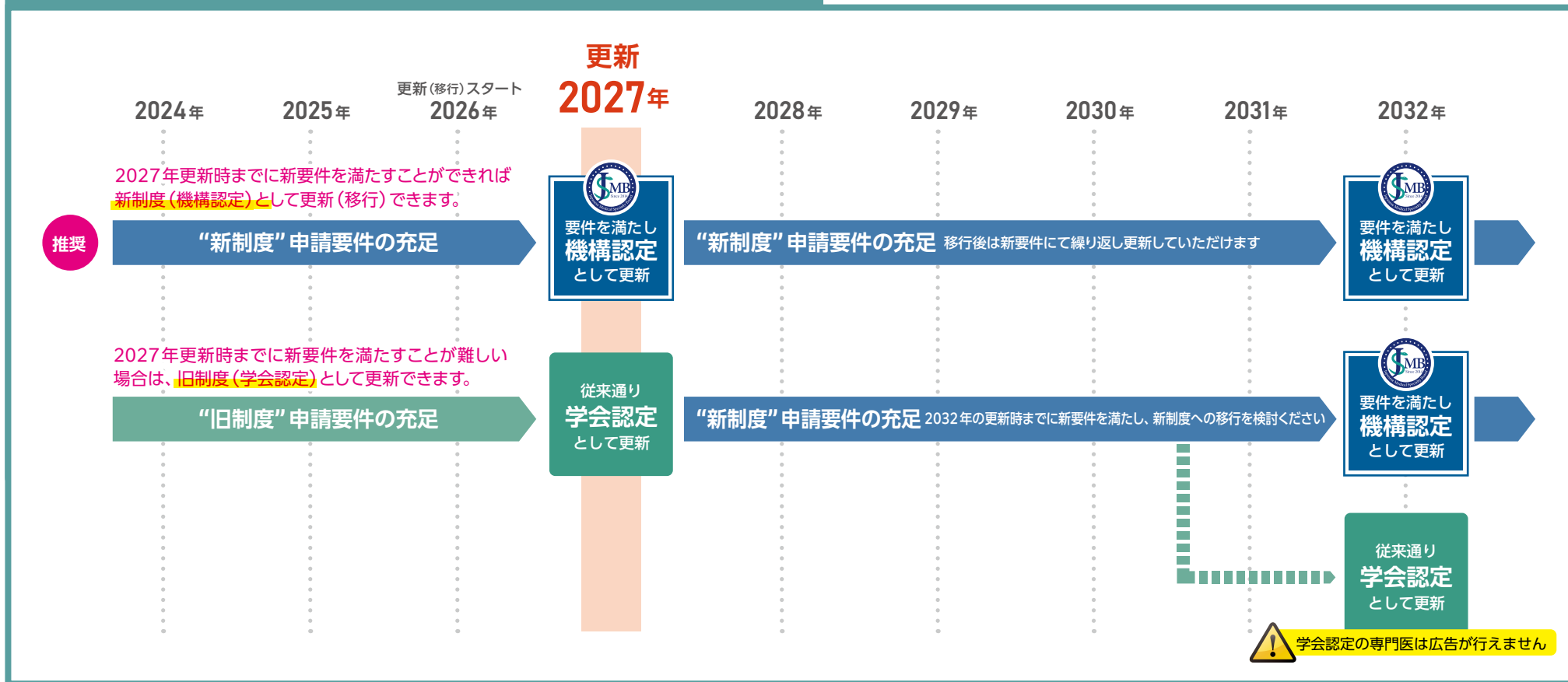
- 例 1 卒後教育セミナー受講 × 1 (旧制度 : 10 単位 × 1 回 = 10 単位)
臨床研究セミナー受講 × 1 (旧制度 : 5 単位 × 1 回 = 5 単位)
- 例 2 サブスペシャルティ領域の定期学術集会参加 × 3 (旧制度 : 5 単位 × 3 回 = 15 単位)

新専門医(機構認定) 移行への流れ〈2027年版〉

“サブスペシャルティ外科専門医”をお持ちの方

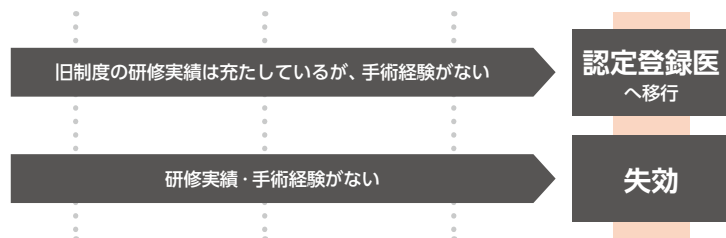


“サブスペシャルティ外科専門医”をお持ちでない方



check!

更新要件を満たせない方



失効後1年以内に限り、学会認定外科専門医の再取得もしくは認定登録医としての登録が可能です。